

主要産地における平成30年産水稻の生育状況等について 第7報 (7月25日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成30年7月26日)

道府県	生育状況等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体等公表資料の抜粋)																																																																																													
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等																																																																																														
北海道	(全道)	生育は、茎数が少なくやや遅れている。(北海道農政部 7月19日付) (空知) 7月上旬の低温、日照不足により生育はやや遅れている。(空知総合振興局 7月19日付) (石狩) 低温、日照不足の影響により、生育は停滞している。(石狩総合振興局 7月19日付) (後志) 遅速は遅い。(後志総合振興局 7月19日付) (胆振) 生育は遅い。(胆振総合振興局 7月19日付) (日高) 低温、日照不足により生育はやや遅れ、分けつは遅く茎数は少ない。(日高総合振興局 7月19日付) (渡島) 日照不足の影響で生育はやや遅れており、茎数は少ない。(渡島総合振興局 7月19日付) (檜山) 生育は概ね平年並に推移している。(檜山振興局 7月19日付) (上川) 生育は、平年よりもやや遅い。(上川総合振興局 7月19日付) (留萌) 低温及び曇りの影響により生育は遅れている。(留萌振興局 7月19日付) (オホーツク) 生育進度は平年並みだが、低温・曇りの影響で分けつが抑制されている。(オホーツク総合振興局 7月19日付)	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月21日～8月20日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は日本海側と太平洋側で高く、オホーツク海側で平年並か高い。 降水量・日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込みだが、9月は前線や湿った気流の影響を受けやすく降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁札幌管区気象台)</p>																																																																																													
青森	(生育)	<p>・黒石の7月20日現在の生育状況は、「つがるロマン」は草丈が73.4cmで平年より4.1cm長く、株当たりの茎数は27.8本で1.2本少なく、葉齢は11.5葉で0.3葉少なかった。 「青天の霹靂」は草丈が81.1cmで平年より6.0cm長く、株当たりの茎数は25.9本で0.9本少なく、葉齢は10.4葉で0.4葉少なかった。</p> <p>・十和田の7月20日現在の「まっしぐら」の生育状況は草丈が72.8cmで平年より1.2cm短く、株当たりの茎数は21.4本で1.4本少なく、葉齢は11.7葉で0.1葉多かった。 (地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所 7月23日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月21日～8月20日】 東北地方の向こう1か月の気温は高く、期間の前半はかなり高くなる見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 東北地方の向こう3か月の気温は、平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込みだが、9月は前線や湿った気流の影響を受けやすく、降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)</p>																																																																																													
岩手	(生育)	<p>・農業研究センター(北上) 「ひとめぼれ」、「あきたこまち」は、草丈は平年並みで、茎数は平年を下回っている。 「銀河のしずく」は、草丈、茎数は平年を上回っている。葉齢は、全品種とも平年並みで、葉色(SPAD値)は、「ひとめぼれ」は平年並みで、「あきたこまち」、「銀河のしずく」は平年を上回っている。また、「あきたこまち」は7月9日に、「銀河のしずく」は7月10日に、「ひとめぼれ」は7月14日に幼穂形成期に達した。</p> <p>・東北農業研究所(軽米) 「いわてっこ」は、草丈、茎数、葉色(SPAD値)は、平年を上回っており、葉齢は、平年並みとなっている。また、7月11日に幼穂形成期に達した。 (岩手県農業研究センター 7月20日付)</p>	同上																																																																																													
宮城	(生育)	<p>・県内平坦部では減数分裂期に達しているほ場が多く、北部平坦地帯の「ひとめぼれ」の出穂期は平年より2日早い8月2日頃(平年は8月4日)になる見込みである。</p> <p>・県全体では、草丈が76.0cm(平年比107%)、1㎡当たりの茎数が495本(平年比94%)、葉数が12.1枚(平年差+0.1枚)、葉色を示すG.M値が35.1(平年差+0.5)となっており、草丈がやや長いものの概ね順調な生育となっている。 (宮城県 7月23日付)</p>	同上																																																																																													
秋田	(生育)	<p>・移植栽培「定点調査」の生育概況(7月13日現在) 各地域振興局による調査では、あきたこまち(64地点)は、草丈63.4cm(平年比100%)、茎数487本/㎡(同91%)、葉数10.7葉(平年差-0.4葉)、葉緑素計値44.3(平年比106%)であった。 平年に比べ、草丈は並、葉数は少なく、葉齢は少なく、葉緑素計値は高い。 ひとめぼれ(6地点)は、草丈60.7cm(平年比97%)、茎数487本/㎡(同84%)、葉数10.7葉(平年差-0.4葉)、葉緑素計値40.7(平年比107%)となっている。 (秋田県 7月18日付)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品種</th> <th rowspan="2">地区</th> <th colspan="3">草丈</th> <th colspan="3">㎡当たり茎数</th> <th colspan="3">葉数</th> <th colspan="3">葉緑素計値</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> <th>本年</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> <th>本年</th> <th>前年差</th> <th>平年差</th> <th>本年</th> <th>前年比</th> <th>平年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">あきたこまち</td> <td>東北</td> <td>62.7</td> <td>102</td> <td>99</td> <td>517</td> <td>94</td> <td>92</td> <td>10.9</td> <td>-0.1</td> <td>-0.2</td> <td>45.2</td> <td>103</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>中央</td> <td>62.2</td> <td>102</td> <td>97</td> <td>419</td> <td>90</td> <td>83</td> <td>10.7</td> <td>-0.1</td> <td>-0.4</td> <td>42.6</td> <td>100</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>64.3</td> <td>105</td> <td>101</td> <td>492</td> <td>99</td> <td>94</td> <td>10.7</td> <td>-0.1</td> <td>-0.2</td> <td>44.2</td> <td>99</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>全県</td> <td>63.4</td> <td>103</td> <td>100</td> <td>487</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>10.7</td> <td>-0.2</td> <td>-0.4</td> <td>44.3</td> <td>101</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td>ひとめぼれ</td> <td>中央</td> <td>60.7</td> <td>101</td> <td>97</td> <td>457</td> <td>85</td> <td>84</td> <td>10.7</td> <td>-0.1</td> <td>-0.4</td> <td>40.7</td> <td>101</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table>	品種	地区	草丈			㎡当たり茎数			葉数			葉緑素計値			本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比	あきたこまち	東北	62.7	102	99	517	94	92	10.9	-0.1	-0.2	45.2	103	110	中央	62.2	102	97	419	90	83	10.7	-0.1	-0.4	42.6	100	105	県南	64.3	105	101	492	99	94	10.7	-0.1	-0.2	44.2	99	104	全県	63.4	103	100	487	95	91	10.7	-0.2	-0.4	44.3	101	106	ひとめぼれ	中央	60.7	101	97	457	85	84	10.7	-0.1	-0.4	40.7	101	107	同上
品種	地区	草丈			㎡当たり茎数			葉数			葉緑素計値																																																																																					
		本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差	本年	前年比	平年比																																																																																			
あきたこまち	東北	62.7	102	99	517	94	92	10.9	-0.1	-0.2	45.2	103	110																																																																																			
	中央	62.2	102	97	419	90	83	10.7	-0.1	-0.4	42.6	100	105																																																																																			
	県南	64.3	105	101	492	99	94	10.7	-0.1	-0.2	44.2	99	104																																																																																			
	全県	63.4	103	100	487	95	91	10.7	-0.2	-0.4	44.3	101	106																																																																																			
ひとめぼれ	中央	60.7	101	97	457	85	84	10.7	-0.1	-0.4	40.7	101	107																																																																																			
山形	(生育)	<p>・7月20日現在の平坦部「はえぬき」の生育は、草丈は平年より長く、茎数、葉数は平年並み、葉色はやや淡くなっている。 農業総合研究センターによる幼穂からみた出穂期は、「はえぬき」「つや姫」ともやや早まる見込みである。 (やまがた攻めの米づくり日本一運動本部 7月20日付)</p> <p>(最上) 7月20日現在、生育診断団「はえぬき」は、草丈が長く、茎数・葉色は平年並。 出穂期は平年より3～4日早まる見込み。高温でさらに早まる場合がある。 (やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 7月25日付)</p> <p>(鶴岡田川) 出穂期は平年並みの予想。今後天候によって早まる可能性あり (庄内総合支庁農業技術普及課 7月23日付)</p>	同上																																																																																													
福島	(生育)	<p>・7月3日現在の農業総合センターの生育調査によると、本部(郡山)と会津地域研究所(会津坂下)では、平年より草丈は短く、茎数及び主稈葉数は少なく、葉色は濃くなっている。浜地域研究所では、草丈は平年並、葉数は平年より多く、主稈葉数は平年並からやや多く、葉色は淡くなっている。</p> <p>・コシヒカリの主稈出葉からみた生育は、本部と会津地域研究所では平年より最大5日の遅れ、浜地域研究所では平年並となっています。一方、浜地域研究所の幼穂形成始期は、ひとめぼれ、天のつぶでは平年より1～3日早くなった。今後の天候によりますが、本部、会津地域研究所の各品種と浜地域研究所のコシヒカリの幼穂形成始期については平年並と見込まれる。 また、7月上旬に本田にて葉いもちが確認されている(病害虫防除所調べ)。 (福島県農林水産部 7月10日付)</p>	同上																																																																																													

生育状況等																																																																																																																				
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植 7月23日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」2日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくま」3日早い。 (水戸市 5月10日移植 7月23日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「コシヒカリ」同年並。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月23日付)</p> <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植 7月18日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は、「あきたこまち」3日早い。「コシヒカリ」3日早い。「ふくまる」3日早い。 (龍ヶ崎市 5月7日移植 7月18日現在) 主稈葉数の展開からみた生育は「あきたこまち」同年並。「コシヒカリ」3日遅い。 (茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。特に期間の前半はかなり高い状態が続く見込み。降水量はほぼ同年並、日照時間は同年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は同年並か高い見込み。降水量はほぼ同年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、7月28日頃からの1週間は、気温が同年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p>																																																																																																																		
栃木	<p>(早稲栽培7月6日調査結果 コシヒカリ) ・草丈は同年より長く(同年比107%)、茎数はやや少ない(95%)。葉齢はやや多く(同年比+0.2)、葉色は0.3濃い。幼穂長は0.4cmで、現在幼穂形成期である。 生育診断値(葉色×茎数値)は同年比87%であり、生育診断指標値の適正範囲を下回っている地域が多い。</p> <p>(生育) (普通稲栽培7月6日調査結果 あさひの夢) ・草丈は29.3cmで同年より短く、茎数は289本/m²で同年比86%と同年並である。 葉齢は7.6葉で同年より0.1葉少なく、葉色は4.6で同年より0.2濃い。葉齢から判断すると、生育は同年並。病害虫の発生は確認されていない。</p> <p>(栃木県農政部経営技術課 7月11日付)</p>	<p>同上</p>																																																																																																																		
千葉	<p>(生育) ・7月上旬は天候に恵まれ順調に生育が進み、4月20日植えの「ふさおとめ」及び「ふさこがね」の出穂期は同年より3～4日程度早まっており、「コシヒカリ」も2日程度早まっている。 5月1日植えの「コシヒカリ」は、同年並みに推移しており7月24日頃から出穂期を迎えたと予測。 また、6月下旬から7月上旬の強風により葉先枯れが見られた。(千葉県 7月12日付)</p>	<p>同上</p>																																																																																																																		
新潟	<p>[7月24日現在の生育] 葉色は、指標値(生育のめやす)に比べて、やや淡く、現在も指標値を下回っている。特に、穂肥の施用時期が遅れたり、施用量が少なかった場合、また、有機質肥料の穂肥を施用している場合などは、大きく葉色が低下している場所が見られる。 (新潟県 7月26日付)</p> <p>(生育) (岩船) コシヒカリの草丈は、下位節間が伸長し長めであり、倒伏が心配される。 6月29日から現在まで連日異常高温が続くなど、葉色の緑色が進み指標値に比べ淡い場所が多い。基肥一発肥料を施用した場所でも葉色の緑色がみられる。 (村上農業普及指導センター 7月25日現在)</p> <p>(魚沼) 今年の出穂期は同年より早まり、5月15日頃田植のコンヒカリで、8月2～3日頃の見込み。 (魚沼農業改良普及センター 7月25日付)</p> <p>(佐渡) (コシヒカリ) 今後も高温が続くことが予想されるため、出穂はやや早まり、同年並となる見込み。 (佐渡農業普及指導センター 7月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は同年並か少ない見込み。日照時間は多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 北陸地方の向こう3か月の気温は同年並か高い見込み。降水量はほぼ同年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 北陸地方では、7月28日頃からの1週間は、気温が同年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁新潟地方気象台)</p>																																																																																																																		
富山	<p>(コシヒカリ) 同年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉齢、葉色は並みとなっている。幼穂形成期は同年より1日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、同年並みの気温で推移した場合、同年より1日早い8月2日頃と見込まれる。</p> <p>(生育) (てんこもり) 同年に比べて草丈はやや長く、茎数、葉色は並み、葉齢は0.4葉多くなっている。 幼穂形成期は、同年より3日早い7月11日となった。 出穂期は、今後、同年並みの気温で推移した場合、同年より3日早い8月3日頃と見込まれる。 (富山県 7月17日付)</p>	<p>同上</p>																																																																																																																		
石川	<p>(出穂期) 6月下旬から気温が高く推移したことから、前回調査時に比べ予想出穂期は早まっている。 ゆめつばは、加賀地域、能登地域ともに既に出穂期を迎えている場所が多く、近年より2～3日早い。 能登ひかりは近年並～2日程度遅くなると見込まれる。 コシヒカリは、加賀地域は同年より3日程度早く、能登地域は同年より3～7日程度早いと見込まれる。 ひやくまん穀は、加賀地域で同年より2日程度早く、能登地域は同年より7日程度早いと見込まれる。 (石川県農林総合研究センター 7月19日付)</p>	<p>同上</p>																																																																																																																		
福井	<p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月5日付)</p> <p>□</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査地</th> <th rowspan="2">品種</th> <th colspan="10">生育診断指標値(%)</th> </tr> <tr> <th>草丈</th> <th>葉色</th> <th>葉齢</th> <th>茎数</th> <th>幼穂長</th> <th>葉色×茎数</th> <th>葉色×幼穂長</th> <th>葉色×葉齢</th> <th>葉色×茎数×幼穂長</th> <th>葉色×葉齢×幼穂長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加賀</td> <td>ゆめつば</td> <td>105</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>能登ひかり</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">能登</td> <td>コシヒカリ</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>てんこもり</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">加賀</td> <td>ゆめつば</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>能登ひかり</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">能登</td> <td>コシヒカリ</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>てんこもり</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	調査地	品種	生育診断指標値(%)										草丈	葉色	葉齢	茎数	幼穂長	葉色×茎数	葉色×幼穂長	葉色×葉齢	葉色×茎数×幼穂長	葉色×葉齢×幼穂長	加賀	ゆめつば	105	100	100	100	100	100	100	100	100	100	能登ひかり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	能登	コシヒカリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	てんこもり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	加賀	ゆめつば	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	能登ひかり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	能登	コシヒカリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	てんこもり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	<p>同上</p>
調査地	品種			生育診断指標値(%)																																																																																																																
		草丈	葉色	葉齢	茎数	幼穂長	葉色×茎数	葉色×幼穂長	葉色×葉齢	葉色×茎数×幼穂長	葉色×葉齢×幼穂長																																																																																																									
加賀	ゆめつば	105	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
	能登ひかり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
能登	コシヒカリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
	てんこもり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
加賀	ゆめつば	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
	能登ひかり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
能登	コシヒカリ	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
	てんこもり	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100																																																																																																									
長野	<p><原村試験地(諏訪郡原村:標高1,017m)における状況> ・ゆめしなのは同年並、あきたこまちは茎数がやや少なくて、移植後調査と同様の傾向で推移している。 幼穂形成期はゆめしなので同年比2日、あきたこまちで同年比1日遅れている。 (長野県農業試験場 7月17日調査)</p> <p>(生育) <農業試験場(須坂市八重森:標高348m)における状況> ・「あきたこまち」、「コシヒカリ」とともに草丈がやや短い、茎数は同年並に近づき、生育は回復傾向にある。 (長野県農業試験場 7月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。日本海側を中心に、向こう1か月の降水量は同年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は同年並か高い見込み。降水量はほぼ同年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 関東甲信地方では、7月28日頃からの1週間は、気温が同年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁東京管区気象台)</p>																																																																																																																		
滋賀	<p>(生育) ・作況調査では、初期生育が抑制され6月中旬まで生育量は小さかったが、6月下旬以降茎数は増加し、「コシヒカリ」、「秋の詩」では過去5年平均並になっている。「みずかがみ」の茎数は過去5年平均の約9割になっている。県内ほ場では、移植日やほ場条件により生育の差は見られるものの、概ね同年並の生育となっている。農技センター～5月10日移植「コシヒカリ」の幼穂形成期は7月3日と、過去5年平均と同日。5月上旬移植の「みずかがみ」では、7月20日頃に出穂期を迎える見込み。 (滋賀県農業技術振興センター 7月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。日本海側を中心に、向こう1か月の降水量は同年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は同年並か高い見込み。降水量はほぼ同年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 近畿地方では、7月28日頃からの1週間は、気温が同年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁大阪管区気象台)</p>																																																																																																																		

生育状況等		
兵庫	<p>(全県共通) 葉齢の進展は平年並み。草丈は平年並み。茎数は少ない。 (東北) 葉齢の進展は平年よりやや遅く、草丈は短い。茎数は平年より多い。 (生育) (兵庫県 7月2日付)</p>	同上
岡山	<p>豪雨による冠水被害のあった水稲を除き、本年は、日照時間が多く平均気温も高かったため、水稲の生育は早生品種を中心に平年並～やや早めに進んでいる。 ・南部の中生・晩生品種で麦刈の遅れから移植が遅かったもの等を除いて、全般に茎数は平年並～やや多めとなっている。 ・早生品種のうち、移植が早いものは既に出穂が始まっており、移植の遅いものも幼穂形成期となっている。 ・中生品種は移植の早い中北部では分けつ盛期～分けつ後期、移植の遅い南部では分けつ前期～分けつ後期となっている。 ・晩生品種は分けつ前期～分けつ後期となっている。 (岡山県農林水産総合センターほか 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 中国地方の向こう3か月の平均した気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 中国地方では、7月28日頃からの1週間は、 気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>・7月豪雨による水稲被害面積は845.10ha (岡山県 7月25日9時現在)</p>
広島		同上
愛媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 四国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は平年並か多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 四国地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 四国地方では、7月28日頃からの1週間は、 気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁高松地方気象台)</p>
高知	<p><早期栽培 出穂期> 出穂期は、4月5日植え「南国そだち」は6月18日(平年より2日早い)。「コシヒカリ」の出穂期は、 4月5日植えで6月30日(平年並み)、4月13日植えで7月3日(平年より2日早い)。 (生育) <普通期栽培 ヒノヒカリ> 草丈は平年よりも高く、茎数は平年よりも多く、葉齢でみた生育進度は平年よりわずかに早くなっており、 生育は順調。(高知県農業技術センター 7月13日付)</p>	同上
福岡	<p>・早期水稲(夢つくし、コシヒカリ) 4月中下旬植えの出穂期は7月8～15日前後と平年並となった。稈長は平年よりやや長く、穂数は平年並。 一部、7月上旬の大雨により浸冠水したほ場では、不稔による減収が懸念される。 (福岡県 7月13日現在)</p> <p>(生育) ・普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 6月8日植「夢つくし」では、草丈は平年より16%高く、茎数は22%少なく、主稈葉数は0.9葉多かった。 6月20日植「元気つくし」では、草丈は平年より4～10%低く、茎数は11～12%少なく、 主稈葉数は0.1～0.4葉多かった。「ヒノヒカリ」では、草丈は平年並～7%低く、 茎数は平年より3～12%少なく、主稈葉数は平年並～0.3葉多かった。「実りつくし」では、前3年と比べ、 草丈は14%低く、茎数は11%少なく、主稈葉数は同等であった。 (福岡県農林業総合試験場 7月17日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 九州北部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並か少なく、日照時間は多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州北部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【高温に関する異常天候早期警戒情報】 九州北部地方では、7月28日頃からの1週間は、 気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (気象庁福岡管区気象台)</p>
熊本		同上
宮崎		<p>【向こう1か月の天候の見通し 7月20日～8月21日】 九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>
鹿児島		同上

注1：国及び地方自治体、出先機関、JA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏める。
注2：更新箇所は赤字で示している。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 7月15日現在(北海道 7月19日)、農作物生育状況 7月15日現在(北海道空知総合振興局 7月19日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道石狩振興局 7月19日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道後志総合振興局 7月19日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道胆振総合振興局 7月19日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道日高振興局 7月19日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道渡島総合振興局 7月19日)、農作物の生育状況 7月15日現在(北海道檜山振興局 7月19日)、
農作物の生育状況 7月15日現在(北海道上川総合振興局 7月19日)、農作物生育状況調査の概要 7月15日現在(北海道留萌振興局 7月19日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月19日)、
作況調査報告(7月20日現在の生育状況)(地独 青森県産業技術センター農林総合研究所 7月23日付)、
平成30年度水稲生育定期調査結果No.5(7月17日現在)(岩手県農業研究センター 7月23日付)
平成30年度水稲の生育状況について(7月20日現在)(宮城県農林水産部 7月23日)、
作況ニュース第6号(秋田県農林水産部 7月18日付)、
稲作だより第9号(やまがた攻めの米づくり日本一運動最上地域本部 7月25日付)
米づくり技術情報No.7 やまがた攻めの米づくり日本一運動本部 7月20日付)、
おいしい米づくり情報第11号(庄内総合支庁農業技術課 7月23日付)、
主要な農作物の生育情報 第4号(福島県農林水産部農業振興課 7月10日付)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月23日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 龍ヶ崎市 7月24日)、
平成30(2018)年度水稲生育診断予測事業速報No.4(栃木県農政部 7月11日)、
水稲の生育状況と当面の対策 第5報(千葉県農林水産部 7月12日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第7号)(新潟県農林水産部 7月26日)、
H30岩船米生育速報(7月25日現在)(村上農業普及指導センター)
緊急稲作情報(魚沼農業普及指導センター 7月25日)、
平成30年度稲作生育速報No.6(佐渡農業普及指導センター 7月19日)、
TACS情報第8号(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月17日)
平成30年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-8号)(石川県農林総合研究センター 7月18日調査)、
稲作情報No.10(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月6日)、
水稲の生育状況(長野県農業試験場 7月12日)、平成30年度水稲生育診断情報No.2 滋賀県農業技術振興センター 6月28日)、
平成30年度兵庫県農業気象技術情報第3号(7月情報)について(兵庫県農政環境部 7月2日)、
水稲における当面の技術対策について(岡山県農林水産総合センターほか 7月20日)、
平成30年度における早期水稲の生育状況(7月10日時点)(高知県農業技術センター 7月13日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(福岡県 7月13日現在)、
福岡県米麦大豆情報(福岡県農林総合試験場 7月17日)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月19日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月19日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月19日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月19日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月19日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月19日広島地方气象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月19日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月19日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月19日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月25日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月25日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月25日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月25日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月25日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月25日広島地方气象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月25日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月25日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月25日鹿児島地方气象台)、
異常天候早期警戒情報(7月23日気象庁)
平成30年7月豪雨による被害について(7月25日9時00分現在)(岡山県 7月25日)